

ノルウェーにおける計画制度から我が国への示唆 ～国、地域連携によるBymiljøpakken（都市環境パッケージ）を例に～

宮川愛由（京都大学経営管理大学院レジリエンス経営科学研究寄附講座）
柳川篤志（中央復建コンサルタンツ株式会社）

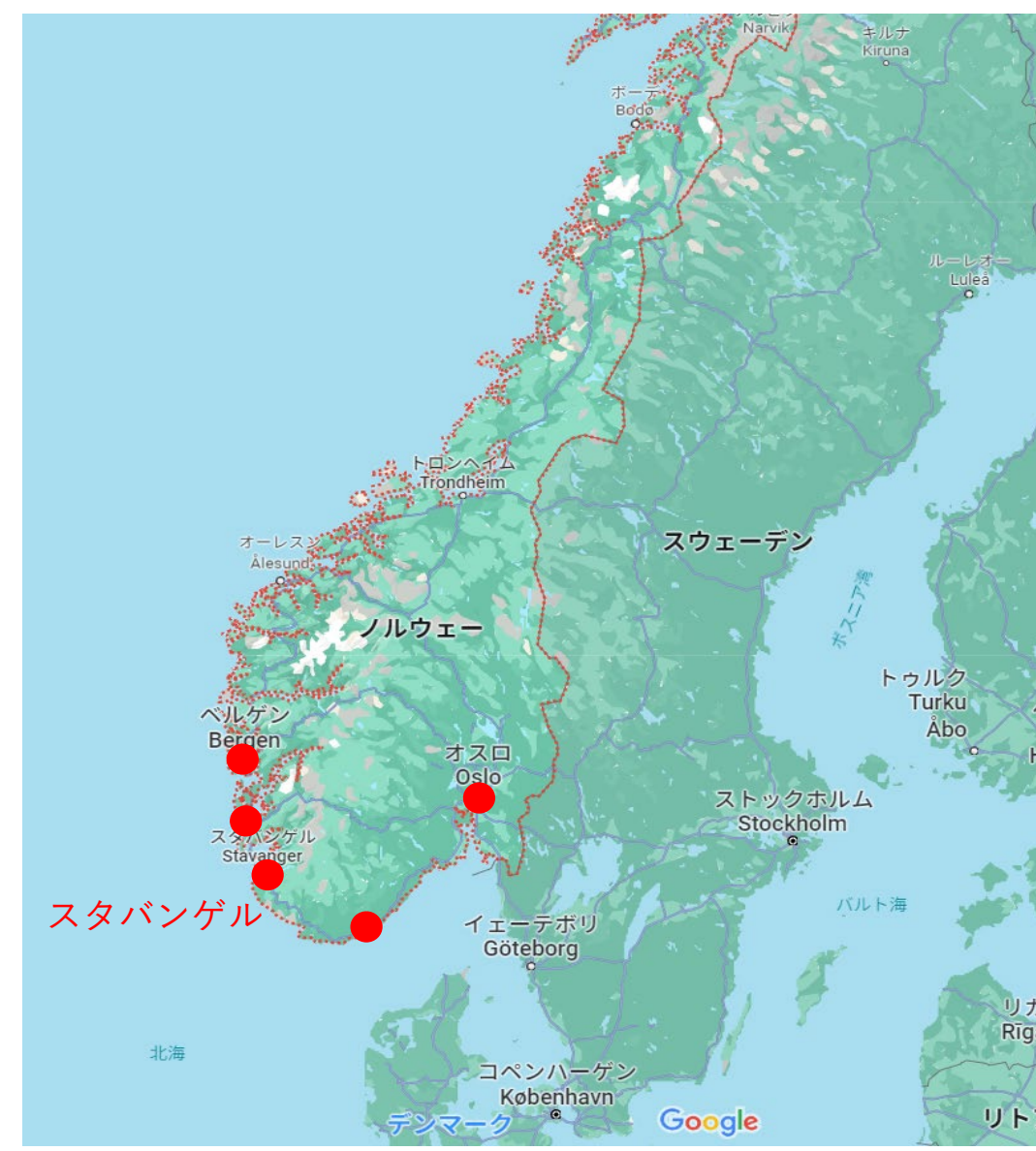
01 背景・目的

インフラに関する長期計画制度及び関連する法制度、参加プロセス等を明らかにすることを目的に、国土交通省、土木学会、コンサルタント、研究者等からなる9名の視察団を組み、ノルウェー5都市を訪問し、交通省、道路庁、地方自治省、道路庁現場事務所、県、市町村関係者へのヒアリングを実施した。
本発表では、文献調査、スタバングル市におけるヒアリング調査に基づき、同国の交通計画や、特徴的な制度を整理し、我が国における交通計画制度における示唆を得ることを目的とする。



02 調査概要

- 調査団：
 - 国交省3名(0B含む)、土木学会1名、コンサルタント1名、研究者4名：9名
- 訪問先：
 - オスロ、クリスチャンサン、スタバングル、ベルゲン、ハウゲスン
 - 交通省、道路庁（整備局的）、地方自治省、現場事務所、県、市町村 計9か所



04 都市成長協定(Byvekstavtaler)とは

<https://www.vegvesen.no/fag/fokusomrader/nasjonal-transportplan/byvekstavtaler/>

Nullvekstmålet（ゼロ成長目標）

都市部において、自動車による旅客輸送を増加させない目標。効率的な土地利用と公共交通、自転車、徒歩による移動を促し、温室効果ガスの排出、渋滞、大気汚染、騒音を削減するという目標

Byvekstavtaler（都市成長協定）

ゼロ成長目標の達成に向けて最も重要なツールとして位置付けられている国、県、市町村間の相互拘束力のある協定。

土地利用と交通計画の責任が分断され、連携が取れていなかったことを背景に、2014-2023年のNTPで最初に議論された。

道路プロジェクトから公共交通プロジェクトに重点がシフト。

都市成長協定の締結

現在、5つのエリアで都市成長協定が締結されている。

- オスロ地域 oslopakke 3
- ベルゲン地域 Miljøløftet
- 北イェーレン地域 Bymiljøpakken
- トロンハイム地域 Miljøpakken
- トロムソ TenkTromsø

資金調達

国家交通計画2025-2036では、12年間で880億ノルウェークローネが都市部に割り当てられ、主に都市成長協定に充てられる。
投資措置の例としては、ハブ、バス停留所、国道や地方道沿いの歩行者専用道路や自転車専用道路など。さらに、鉄道沿線の駅やハブの整備にも資金を拠出している。

モニタリングと助成金制度

すべての都市部に共通する一連の指標に基づき自動車交通量や公共交通、自転車・徒歩の利用回数の変化を計測。
公共交通利用促進、自動車利用抑制による助成金制度、公共交通利用促進のための乗車運賃補助制度がある。

06 結論

都市成長協定に基づき、都市部やその周辺地域が政策の理念や課題を共有し、さまざまな政策を担当する行政レベルやセクター間が一体となって土地利用、交通計画の連動、財政面の連携を図り、より効果的かつ実効性の高い交通政策が実現しているものと考えられる。

03 国家交通計画

(National Transport Plan (NTP))とは

- 交通省(Ministry of Transport)が策定する、交通に関する政府の長期的な目標、戦略、優先事項。全ての交通モードを網羅。
- 法的根拠のない行政計画。2050年までの展望。
- 計画期間は12年。原則4年ごとに改訂。
- 現在は国家交通計画2022-2033が施行中。
- 次期国家交通計画2025-2036を国会へ報告済(一年前倒し)。
- 分野別、財源別、用途別に事業費を記載。ただし、法的拘束力は低い。



NTP2022-2033の5つの政府目標

- ① 費用対効果の向上
- ② 新技術の有効活用
- ③ 気候・環境目標の達成への貢献
- ④ 交通事故死傷者ゼロの達成
- ⑤ 日常生活の利便性と企業の競争力向上

05 Bymiljøpakken

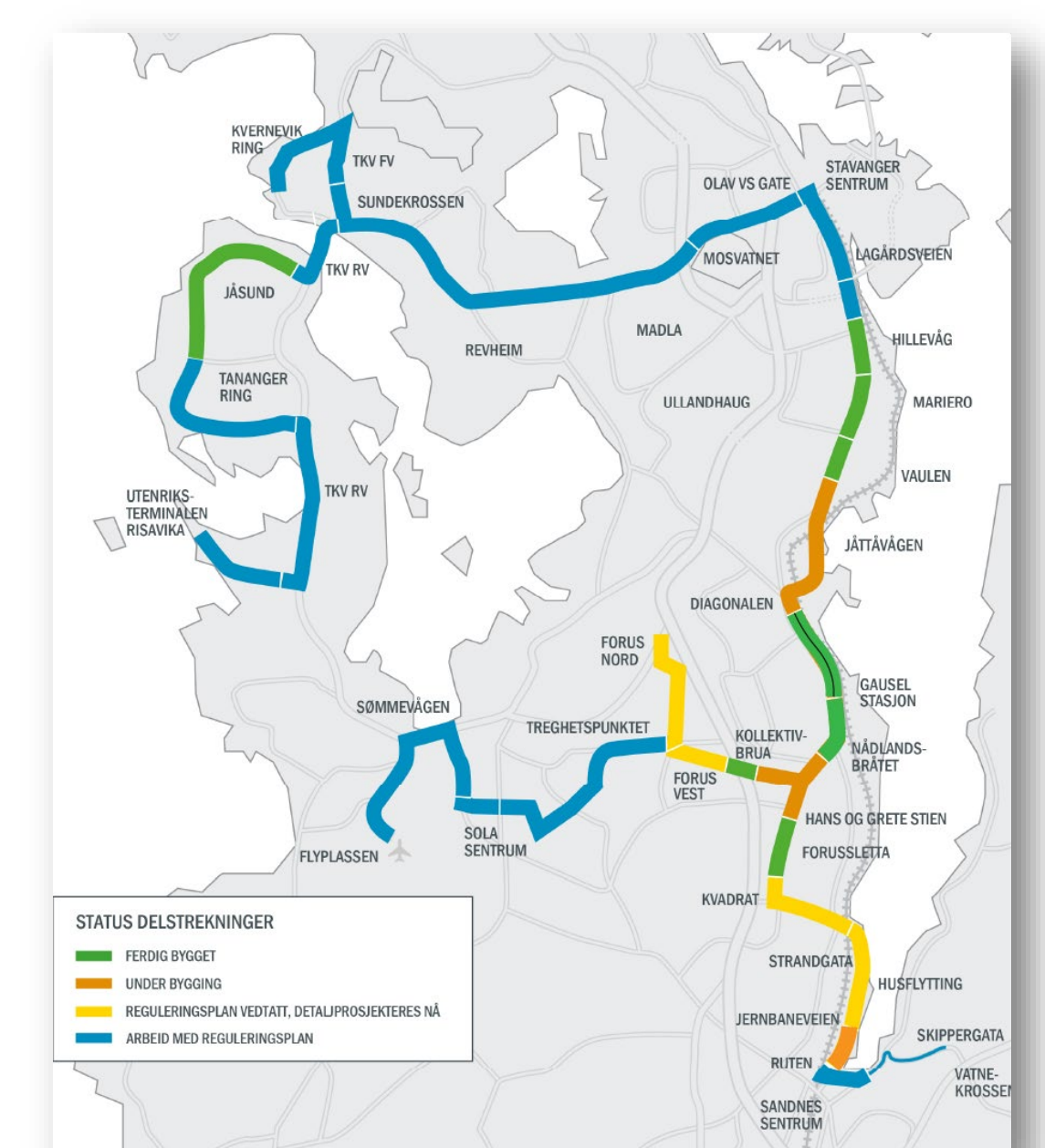


- 北イェーレン地域における都市成長協定の名称（2019年～2029年）
- 国（ノルウェー道路庁、鉄道総局、国家行政官）、県（ローガランド県）、市町村（スタバングル市、ソラ市、ランダベルグ市、サンネス市）の8つの組織が協定を締結
- 2033年までに380億ノルウェークローネの予算立て
- 主なプロジェクトは、大型車両レーン、公共交通専用レーン、BRTシステム、自転車高速道路の整備など。
- 資金の大半は都市成長協定とNTPに基づき国が拠出。さらにローガランド州、各自治体も27億クロネを拠出



道路庁ヒアリング資料より

サンネスとスタバングルを結ぶ高速自転車道（計画期間は2012年から2018年）
都市成長協定に基づき政府資金のみで賄われている。



BRTシステム（70%が政府資金、30%が通行料）